図書だより

令和６年１月号
香川一中図書室発行

新しい一年が始まりました。みなさんは今年、どんな年にしたいですか。今年は「辰年」です。本来の干支と言われる十干十二支では「甲辰」（きのえたつ）で、今まで努力してきたことが実を結んで成就する、というとても縁起のいい年だそうです。明るい一年にしたいですね。

勉強のコツ

わからないままにするよりも
わかる人にきいてみる
一度に勉強するよりも
毎日コツコツ勉強する
一人でがんばるよりも
みんなでがんばればいい
誰かに八つ当たりするよりも
間違ったことを反省する
無理して応用に取り組むよりも
しっかりと基礎を身に付ける
目先の目標を考えるよりも
何のためにがんばるかを考える
思うような結果が出なくても
今まで勉強してきた自分を信じる

田口久人「そのままでいい」
ディスカヴァー・トゥエンティワン

※一中図書室で借りられます。

冬休み用図書を返却しましょう！

返却期限は１月１０日（水）です。読めていなくても一度返却しましょう。

本は、各職員室前の返却ボックスや返却ポスト、図書室に返してください。

新しい本も届きます。一度返却してどんどん借りに来てください。

本の紹介

『さみしい夜にはペンを持て』　古賀史健/著　ポプラ社　159/コ

うみのなか中学校に通うタコジローは、学校にも居場所がなく、自分のことが大嫌い。ある日、不思議なヤドカリおじさんと出会ったタコジローは、おじさんから「書くことは、自分と対話すること」だと教わり、その日からどんどん変わっていきます。書くことは、知らなかった自分を発見し自分を好きになっていくことです。書くことのおもしろさに触れてみませんか。

『舟を編む』　三浦しをん/著　光文社　913/ア

玄武書房に勤める馬締光也。営業部では変人として持て余されていたが、人とは違う視点で言葉を捉える馬締は、新しい辞書『大渡海』を編む仲間として辞書編集部に迎えられる。定年間近のベテラン編集者、日本語研究に人生を捧げる老学者、徐々に辞書に愛情を持ち始めるチャラ男、出会った運命の女性、そして月日は過ぎ新人の登場。果たして『大渡海』は完成するのか。人間模様が面白く展開も早いので引き込まれます。

近々到着予定の本

『あの花が咲く丘で君とまた出会えたら』　汐見夏衛/著　スターツ出版　B913/シ

『世界が広がる推し活韓国語』　柳志英／著　南嘉英／著　幡野泉／監修　劇団雌猫／監修　KADOKAWA　829/リ

『小説映画 なのに、千輝くんが甘すぎる。』　亜南くじら/原作　大北はるか/脚本　倉橋燿子/著　講談社　913/ア

『変な家　２』　雨穴/著　飛鳥新社　913/ア

※他にも、人気シリーズの続巻・先生のおすすめの本など続々到着予定です。